

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	東成区
学校名	大阪立中道小学校
学校長名	西光 正隆

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・中道小学校では、第6学年 26名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科では、全国・大阪市の平均正答率を領域・分野ともに上回った。平均無答率は、全国・大阪市平均を下回った。
 算数科では、全国・大阪市の平均正答率を領域・分野ともに上回った。平均無答率は、全国・大阪市平均を下回った。
 理科でも全国・大阪市の平均正答率を領域・分野ともに上回り、平均無答率は、全国・大阪市平均を下回った。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

[国語]

「言葉の特徴や使い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「知識・技能」「思考・判断・表現」などすべての項目において全国・大阪市と比べて正答率が高かった。今後も振り返りプリントも活用しながら、「相手や目的を意識し、資料を効果的に使って、伝えたいことを明確にする」「事実と自分の考えをしっかりと分けて書く」「『なぜか』というと～からです。』などの思考にかかる語句や根拠を表す語句をうまく使える」ことを授業で定着させていく。

[算数]

「数と計算」「知識・技能」「変化と関係」などすべての項目の平均正答率は、全国・大阪市正答率と比べて高かった。今後も振り返りプリントも活用しながら、「公式」「算数で使うことば」「グラフの見方」をしっかりと定着させていく。また、テストを解く時の時間配分にも慣れていく。

[理科]

「エネルギー」を柱とする領域」「知識・技能」などすべての項目の平均正答率は、全国・大阪市正答率と比べて高かった。今後も振り返りプリントも活用しながら、基礎基本の内容をしっかりと定着させていく。また、実験や観察やICTの活用を通して、理科に興味を持たせるように授業形態を工夫する。

質問調査より

「自分には、よいところがあると思いますか」「将来の夢や目標を持ってますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対する肯定的な回答をした児童の割合は高く、自分自身を肯定的にとらえ、自分の将来に対して前向きに考えようとする児童が多いが、前向きでない児童の割合も高い。

国語や算数、理科の勉強が得意な児童の割合は高い。授業の中で発表の工夫をする児童が多いが、話し合い活動でのICT機器の効果的な活用については、研究していく必要がある。

今後の取組(アクションプラン)

算数科・国語科・理科においては、習熟度別少人数授業や学びサポーター等の活用により、児童一人一人に応じた指導を工夫し、基礎・基本の定着を図っていく。また、協働的な学びと個別最適な学びの実現に向けて、話し合い活動や授業での指導法について、研究部を中心に研鑽を深めるとともに、ICT機器を活用した話し合い活動やデジタルドリルの効果的な活用を進めていく。

各教科で必要な「読む力」「書く力」の充実に向けて、授業での図書館の活用も含めた読書習慣の定着と、各教科での短作文等のノート指導を進めていく。

家庭での学習習慣の定着に向けて、家庭での学習課題の工夫や自学自習ノート、学習端末の活用を図っていく。

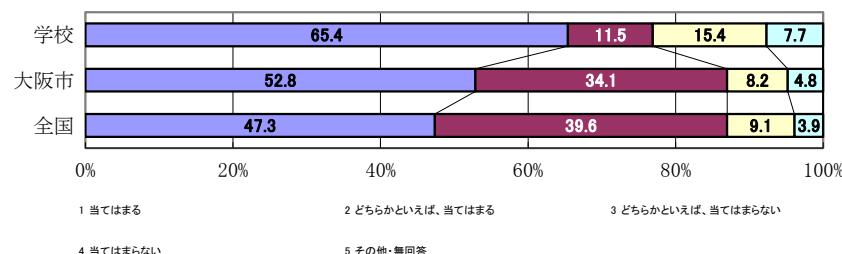
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

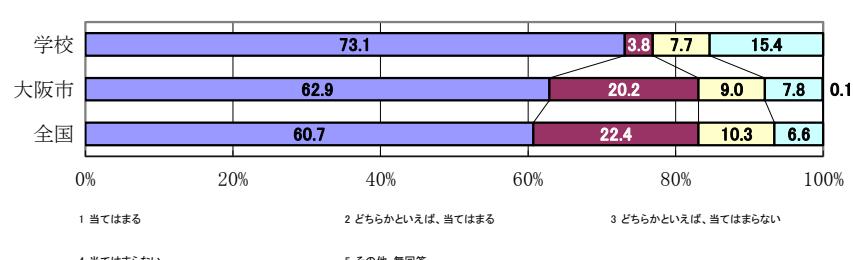
5

自分には、よいところがあると思いますか



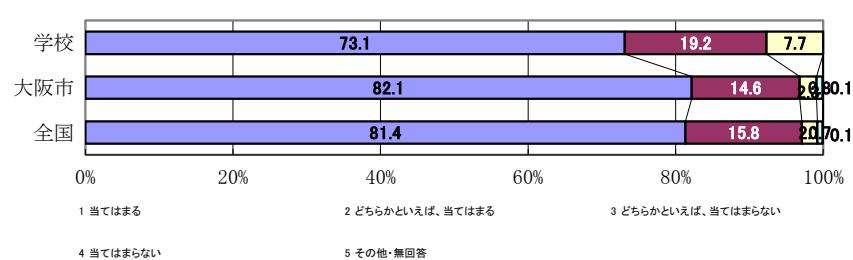
7

将来の夢や目標を持っていますか



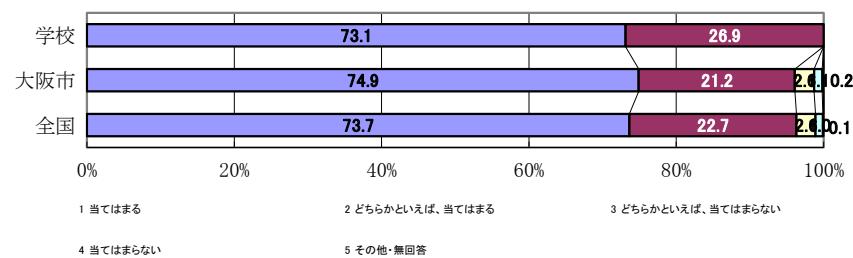
9

いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



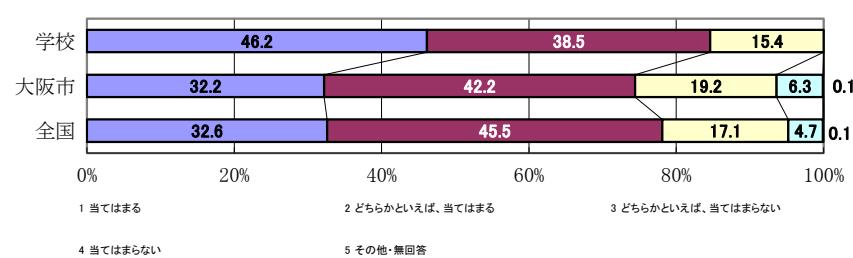
11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



13

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



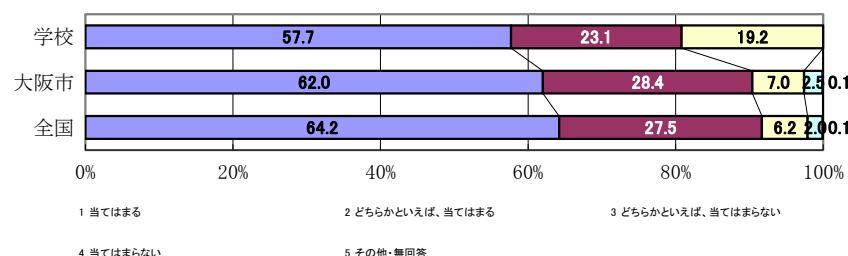
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

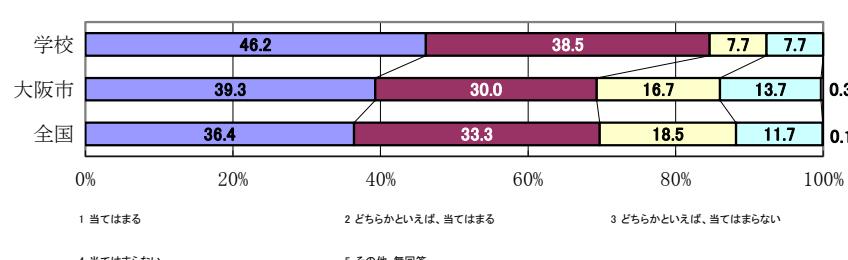
14

友達関係に満足していますか



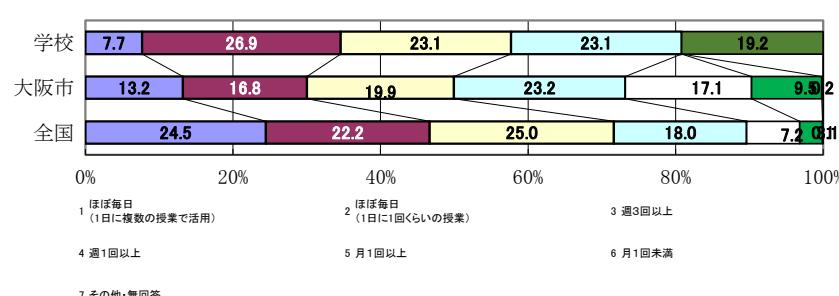
24

読書は好きですか



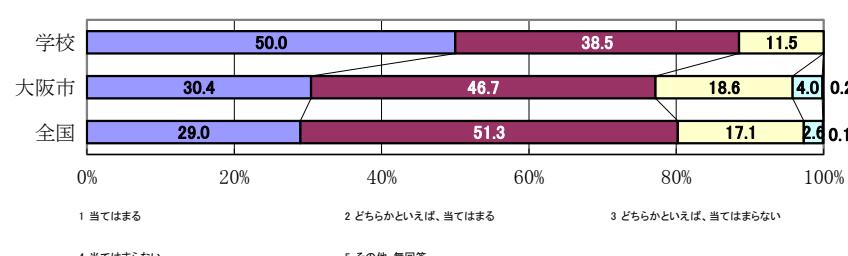
28

5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



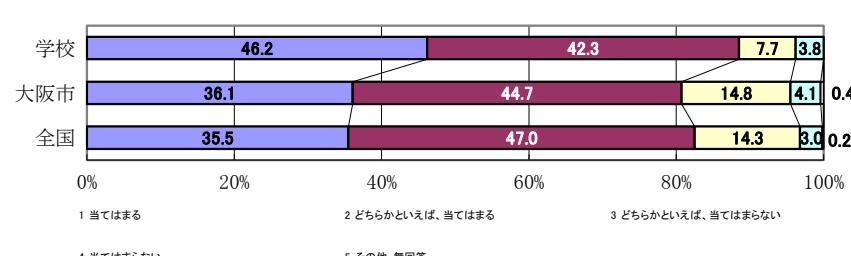
32

5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



37

授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか



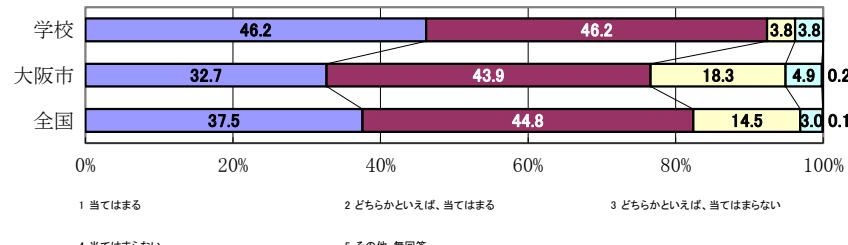
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

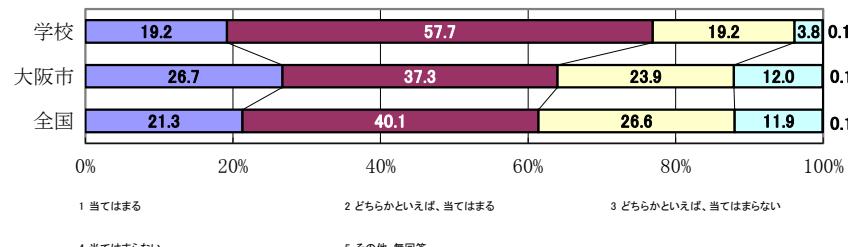
40

総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



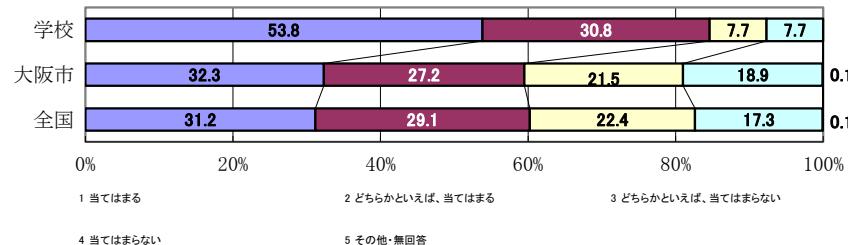
44

国語の勉強は得意ですか



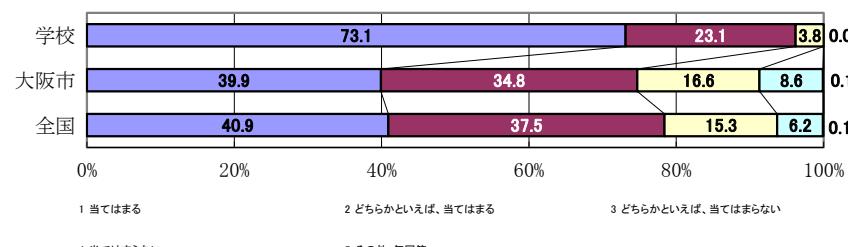
52

算数の勉強は得意ですか



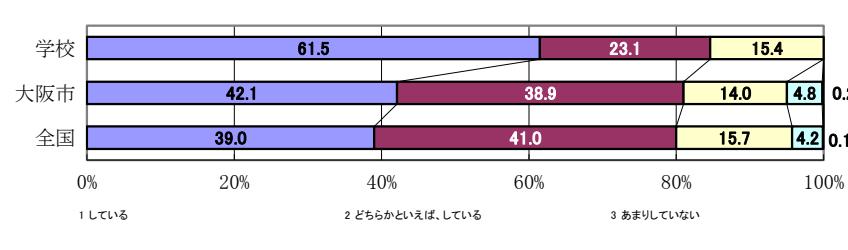
60

理科の勉強は得意ですか



71

健康にすごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか



学校質問より

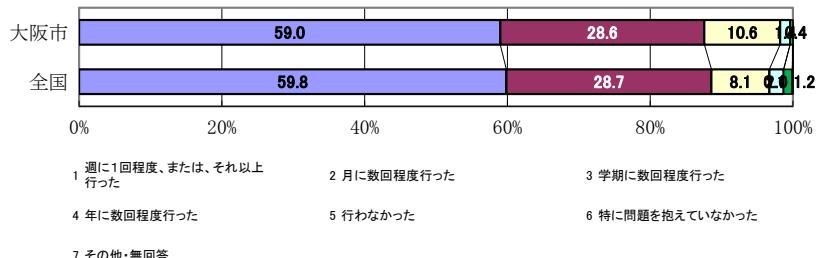
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

12

前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか

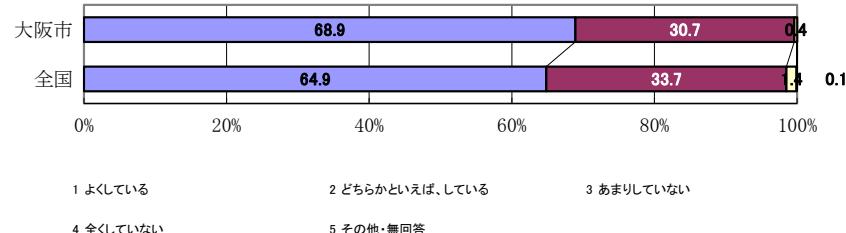
学校 「週に1回程度、または、それ以上行った」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

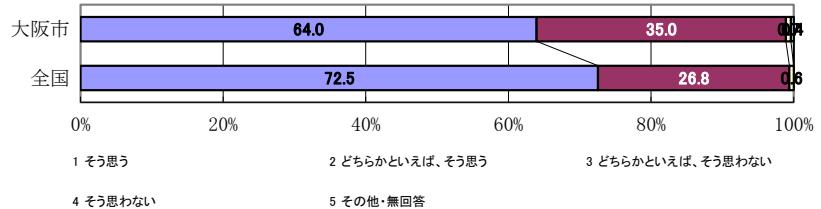
学校 「よくしている」を選択



23

教職員が困っているとき、管理職と教職員との間で随時相談できるなど組織的に対応する体制を構築していると思いますか

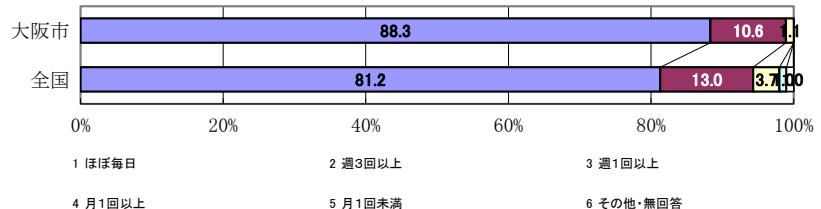
学校 「そう思う」を選択



55

前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択



66

児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようになっていますか

学校 「時々持ち帰って、時々利用させている」を選択

